

職名 教授	氏名 伊藤明生	
教育実践上の主な業績	年月日	概 要
1 授業以外での教育活動 (2002～2006年度に行った課 外活動指導・同顧問・研究室 における教育活動など)		学生サークル「わわわ」の顧問
		担任として担当学生たちを食事に招いて、相談などに乗った。随時研究室で学生の相談に乗ったり、学期毎に面談も実施した。
		この間、教務課長、学科長、学部長として、様々な課題を抱えた学生の相談にのったり、指導をしたりした。
2 教育内容・方法の工夫(授 業評価等を含む)		学生たちの授業評価を踏まえて、視覚に訴える教材を使用したり、学生にわかりやすい教科書的な教材を作成したりしてい
3 作成した教科書、教材、 参考書		適宜、授業に必要なレジメ、教材を作成して、配布したり、パワーポイントで作成してプロジェクターに授業中に見せたりした。
		最近、ホームページを作成して、ホームページ上で、授業に役立つ情報を提供している。
4 教育方法・教育実践に関 する発表、講演会等		特になし

職名 教授	氏名 稲垣久和	
教育実践上の主な業績	年月日	概 要
1 授業以外での教育活動 (2002 - 2006年度に行った課 外活動指導・同顧問・研究室 における教育活動など)	2005年6月27日	於青山学院大学「スピリチュアリティと公共哲学」(「キリスト教の霊性」研究会)主催)
	2005年11月15 - 18日	於名古屋大学「公共哲学と感情の問題」(名古屋大学 - 京都フォーラム共催)
	2006年3月13 - 16日	於東北大学「社会運動と公共世界」(東北大学 - 京都フォーラム主催)
	2007年3月3 - 5日	於北京大学「公共哲学翻訳者会議」(中国語公共哲学翻訳会主催)
	2007年5月	於早稲田大学「スピリチュアリティと平和」(日本平和学会主催)
	2007年6月	於青山学院大学「キリスト教環境倫理の現代的争点」(同大学公開講座主催)
2 教育内容・方法の工夫(授 業評価等を含む)		教科書以外に適宜、筆者の書いた新聞・雑誌類記事のコピーを使用し、たえず社会に起こっていることと理論的学びを結び つける努力をしている。
3 作成した教科書、教材、 参考書	2005年	『神の科学』(翻訳・教文館) 神学と科学の方法論との対話
	2004年	『宗教と公共哲学』(東京大学出版会) 公共哲学の理論付けを「認識者の地平」「私人の地平」「公共世界」の三部作で
	2006年3月	『宗教から考える公共性』(東京大学出版会) 諸宗教間の対話と公共性との関係
	2006年	『靖国神社「解放」論』(光文社) 日本と諸外国との軋轢となる靖国問題の公共哲学的アプローチ
	2005-2007年	Emergence(創発)(共立研究所発行) 特集「記憶と追悼」「科学とスピリチュアリティ」「キリスト教公共福祉の可 可能性」「戦後和解と市民的公共性」
4 教育方法・教育実践に関 する発表、講演会等		日本宗教学会などでの宗教教育についての討論多数(公教育における宗教教育の可能性)

職名 講師		氏名 岩田三枝子 *2004年度より着任	
教育実践上の主な業績	年月日	概	要
1 授業以外での教育活動 (2002 - 2006年度に行った課 外活動指導・同顧問・研究室 における教育活動など)	2004 -	ブラック・ゴスペルサークル顧問	
	2005 -	異文化実習委員会	
2 教育内容・方法の工夫(授 業評価等を含む)		視覚教材(VTR,パワーポイント等)の活用、授業配布レジメの充実、 ディスカッション、ワークショップの導入 学内講演会の活用	
3 作成した教科書、教材、 参考書			
4 教育方法・教育実践に関 する発表、講演会等	2004年10月23日	科学と宗教研究会発表「『神の科学』3 実在第7章神学と自然科学における合理性と知識」	
	2006年4月7日	公共福祉研究会発表「稲垣久和氏論文へのレスポンスとして」	
	2007年11月	公共福祉研究会発表「Nel Noddings, <i>Starting at Home</i> を読む」	

職名 准教授	氏名 岡村直樹 *2006年度より着任	
教育実践上の主な業績	年月日	概 要
1 授業以外での教育活動 (2002 - 2006年度に行った課 外活動指導・同顧問・研究室 における教育活動など)		
2 教育内容・方法の工夫(授 業評価等を含む)	2006年	キリスト教史概説、及び組織神学のクラスの全講義内容のアウトライン、及び視覚教材をパワーポイントによるプレゼンテーション用に作成し直し、授業において用いた。
3 作成した教科書、教材、 参考書		
4 教育方法・教育実践に関 する発表、講演会等		

職名 教授	氏名 木内伸嘉	
教育実践上の主な業績	年月日	概 要
1 授業以外での教育活動 (2002 - 2006年度に行った課 外活動指導・同顧問・研究室 における教育活動など)	2003年4月 - 2005年1月	卒論指導
	2006年9月 - 2007年6月	卒論指導
2 教育内容・方法の工夫(授 業評価等を含む)	2002 年より毎年4月	前の年の授業内容を見直した。特に、実質的な内容のレベルを下げずに学生のレベルにあった教授法を模索した。
3 作成した教科書、教材、 参考書	2002年 4 月	「聖書言語入門」のためのヘブル語アルファベットのテキストを作成した。クラス限定使用
4 教育方法・教育実践に関 する発表、講演会等		特になし

職名 講師	氏名 菊池実	
教育実践上の主な業績	年月日	概 要
1 授業以外での教育活動 (2002 - 2006年度に行った課 外活動指導・同顧問・研究室 における教育活動など)	通年	寮務課長、それにともなう各寮長・副寮長との毎月の懇談会。毎月の寮務委員会における寮生支援の会合。学生会代表者との懇談。
	通年	演劇サークル顧問
	毎夏	夏期伝道の毎年に参加と学生との交流。修養会、学園チャペル
	通年	教会教職プログラム「バルナバ会」における学生との交流。指導、アドバイス。
	通年	担任としての指導、アドバイス、交流。
	通年	チャペル委員会メンバーとしての各方面との調整、対話。
	通年	障害学生修学支援委員会委員としての各種調査、学生との対話、学生支援。
	通年	教会実習担当教員としてのアドバイス、交流。
2 教育内容・方法の工夫(授 業評価等を含む)	2002-2006	聖書考古学資料館(御茶ノ水)理事歴任
	通年 2005 - 2006	全科目の期末試験においては、大学が提出を求める評価のほかに、クラスや教授方法への提言を求めている。 パワーポイントの導入
3 作成した教科書、教材、 参考書	2002(毎回改訂)	中間時代史テキスト全35頁。
	2006	聖書考古学、の資料の全面改良
	2006	聖書考古学、におけるパワーポイントへの全面移行とプログラム作成
	2006	聖書考古学、の画像資料CD化、実費での頒布
	2004 2004	キリスト教世界観(ティームティーチング)テキスト作成 基礎演習のテキスト作成(レポートの書き方)
4 教育方法・教育実践に関 する発表、講演会等		

職名 学長・教授	氏名 倉沢正則	
教育実践上の主な業績	年月日	概 要
1 授業以外での教育活動 (2002 - 2006年度に行った課 外活動指導・同顧問・研究室 における教育活動など)	2002年7月22日より10日 間	インドネシア・カリマンタンATI神学校にて特別講義「宣教の神学」
	2006年6月26-27日	神戸ルーテル神学校にて講義「日本宣教の現状と展望」(夏期リフレッシュ講座)
2 教育内容・方法の工夫(授 業評価等を含む)	2005年9月からの秋学期	パワーポイントを用いた授業を始める
	2006年9月からの秋学期	パワーポイントシートのみを用いた授業をする。理由は、スクリーンの表示のみに気を取られて、考えてノートを取ることが希薄になる傾向を見たからである。 て、考えてノートを取ることが希薄になる傾向を見たからである。
3 作成した教科書、教材、 参考書		特になし
	4 教育方法・教育実践に関 する発表、講演会等	

職名 教授・学部長		氏名 小林高德	
教育実践上の主な業績	年月日	概	要
1 授業以外での教育活動 (2002 - 2006年度に行った課 外活動指導・同顧問・研究室 における教育活動など)	2002年7月5 - 6日	神戸ルーテル神学校集中講義（「ヨハネ福音書研究」）	
	2002年12月1 - 13日	カザフスタン福音神学校集中講義（「パウロ神学」）	
	2005年6月27 - 28日	神戸ルーテル神学校集中講義（「パウロ神学研究」）	
	2005年7月24 - 29日	インドネシアATI神学校集中講義（「新約聖書の使信と解放の神学」）	
	2005年8月2 - 日	Institut Theologia Aletheia(インドネシア、Lawang)特別講義	
	2003 - 2004年	福音主義神学校協議会議長	
2 教育内容・方法の工夫(授 業評価等を含む)			
3 作成した教科書、教材、 参考書			
4 教育方法・教育実践に関 する発表、講演会等	2002年11月1日	「グローバル化と神学教育の地域性について」（福音主義神学校協議会総会）	
	2003年8月21日	"A Changing Phase of Theological Education in Japan". A panerist presentation for 'Tertiary Theological Education in the Grobal Age', ICETE International Conference, High Wycombe, England.	

職名 教授	氏名 櫻井園郎	
教育実践上の主な業績	年月日	概 要
1 授業以外での教育活動 (2002 - 2006年度に行った課 外活動指導・同顧問・研究室 における教育活動など)	2002年4月1日 - 2007年3 月31日	自主ゼミ：「神学総合ゼミナール」主宰 毎週月曜日10：00～12：20 研究・発表・討論・論文等の指導 襲職活動生対象 就職活動指導・模擬面接・企業見学
	2002年4月1日	社会見学：京都・武者小路千家家元
	4月2日	社会見学：晴明神社、北野天満宮、千本焔魔堂
	4月17日	社会見学：放送と人権シンポジウム
	6月22日	社会見学：下北恐山
	6月23日	社会見学：青森県新郷村
	11月12日	社会見学：千葉地方裁判所、千葉家庭裁判所
	2003年1月24日	社会見学：国立民俗学博物館
	2月8日	社会見学：房総のむら
	3月3日	社会見学：横浜・関帝廟、地藏王廟
	5月5日	社会見学：宗吾霊堂
	5月28日	社会見学：千葉地方法務局、千葉県警察本部
	6月2日	社会見学：かずさDNA研究所
	6月22日 - 24日	社会見学：天理教本部、天理大学、天理教校 天理参考館
	6月30日	社会見学：松戸神社・夏越しの大祓え
	8月30日 - 31日	合宿指導：銚子キリスト教会
	10月14日	社会見学：靖國神社、クリスチャン新聞
	11月23日	社会見学：春日部丘の上記念教会
	11月24日	社会見学：茨城県天心記念五浦美術館 茨城大学五浦美術研究所
	12月10日	社会見学：学士会
	2004年1月5 - 6日	社会見学：日蓮誕生寺、清澄寺
	2月21日	社会見学：人形歴史館 埼玉県民俗文化センター
	3月17日	社会見学：新東京国際空港
	4月9日	社会見学：学士会
	4月30日	社会見学：ペウラ陶房
	6月12日	社会見学：マスコミ倫理懇談会
	9月5日 - 7日	社会見学：高野山、高野山大学
	11月26日	社会見学：横浜海岸教会
	2005年1月9日	聴 聞：幸福の科学元理事長から聞く
	1月23日	聴 聞：牧師から教会のトラブルの実態を
4月22日	社会見学：須賀ハリストス正教会 飯高壇林（立正大学発祥の地）	
5月20日	社会見学：カナンコーポレーション フレアアセット	
2006年7月9日 - 10日	社会見学：大山神社	
11月6日	社会見学：創価学会	

2 教育内容・方法の工夫(授業評価等を含む)		
3 作成した教科書、教材、参考書	2002年4月	『異教世界のキリスト教』
	4月	「茶道とキリスト教信仰」
	4月	『武者小路千家家元と考える茶道とキリスト教』
	6月	「親族にかかわる法と祖先崇拜」
	6月	「キリスト教嫌いの構造」
	7月	『下北恐山と戸来村基督伝説』
	9月	『宣教学リーディングス』
	9月	『現代に生きる日本人キリスト者のための使徒信条』
	9月	『教会と宗教法人』
	11月	『イスラームと日本人』
	12月	『武者小路千家家元と考える茶道とキリスト教』
	2003年1月	『神論』
	2月	「信仰に基づく抵抗と国家」
	2月	「神の法と王の法」
	2月	『お正月、その民俗と信仰』
	3月	「日本人の宗教観と祖先崇拜の構造」
	3月	「イスラームから考える宗教と国家」
	5月	「日本社会のキリスト教的意味」
	6月	『天理教の親神思想』
	10月	「キリスト者の行為と規範」
	11月	「『茶の本』とキリスト者」
	11月	『キリスト教会と茶道』
	11月	『岡倉天心と東洋の覚醒』
	11月	「救済の神学における『生命の木』の意味」
	12月	『メディアと広告』
	2004年1月	『開宗七五〇年の日蓮と日蓮宗』
	2月	「天皇制とキリスト教」
	2月	「牧会の法と神学」
	2月	『雛人形の歴史と民俗』
	2月	「伊勢神宮とキリスト教」
3月	「マスメディアの信頼と広告責任」	
3月	「神への礼拝と死者の慰霊」	
3月	「『罪の赦し』の論理」	

3 作成した教科書、教材、 参考書	6月	「家族の法と祖先崇拜」
	6月	「宗教法人法における宗教団体と宗教法人」
	6月	「広告の法と倫理」
	7月	『「異教としてのキリスト教」からの脱却』
	7月	「異教の意味と文化の理解」
	7月	「社会風習と基督教宣教」
	7月	「伝道牧会と冠婚葬祭」
	7月	「異教社会と教会の法的諸問題」
	9月	『弘法大師空海と高野山』
	10月	「日本人の宗教生と法意識」
	11月	「基督者の行為と規範」
	11月	『横浜海岸教会と関帝廟』
	2005年3月	『広告に携わる人の総合講座』
	3月	「『宗教』の判断基準」
	3月	「基督者の密教入門」
	4月	「法人論」
	4月	「宗教と宗教団体」
	5月	「日本人の宗教生と法意識」
	5月	「教会と個人情報保護」
	5月	「宗教団体と宗教法人」
	5月	「宗教法人の本質」
	5月	「宗教法人の管理」
	6月	「ペット供養課税処分取消訴訟判決と 宗教判断基準」
	6月	「個人情報保護法と宗教団体」
	6月	「税務会計と宗教法人」
	7月	「著作権と宗教団体」
	7月	「宗教法人の社会的責任」
	11月	「宗教法人法における宗教団体と宗教法人」
	2006年1月	「宗教法人の被包括関係の廃止」
	2月	「信教の自由とは何か？」
	3月	「空海入唐の道と中国における宗教復興」
	3月	「永遠の生命」
	7月	『大山詣の石尊と不動尊』
	9月	「『神の言葉』の倫理」
	9月	「『神の創造』の倫理」
	9月	「『義と愛』の倫理」
	9月	「『赦しと贖い』の倫理」
	9月	「『聖化と伝道』の倫理」
	9月	「『最後の審判』の倫理」

3 作成した教科書、教材、 参考書	10月	「基督者の行為と規範」
	11月	「ペット供養課税処分取消訴訟判決と宗教判断基準」
	2007年2月	『教会と宗教法人の法律』
	3月	「公益法人改革三法」
	3月	「さばきの神学」
4 教育方法・教育実践に関する 発表、講演会等	2002年9月3日	専任教員研修会
	2003年2月11日	特別講義：福音伝道教団
	2003年6月28日	オープンキャンパス
	7月1日	理事専任教員懇談会
	2003年7月14 - 15日	特別講義：アドバンスド・スクール・オブ・セオロジー
	2004年2月9日	岐阜地区学園デー
	6月22日	特別講義：日本経済新聞社
	7月12 - 14日	特別講義：東北教役者会
	8月8日	特別講義：V I P 関西
	10月10 - 11日	特別講義：奥羽クリスチャン修養会
	2005年4月23日 - 7月2日	特別講義：御茶ノ水エクステンション
	2006年1月23日	特別講義：教会と法律
	2月11日	特別講義：信教の自由を考える講演会
	6月13日	特別講義：小学館
	9月14 - 15日	特別講義：中央日本聖書学院
2007年2月7日	特別講義：日本郵政公社	

職名 講師	氏名 ショート ランドル (J. Randall Short) * 2006年9月より着任	
教育実践上の主な業績	年月日	概 要
1 授業以外での教育活動 (2002 - 2006年度に行った課 外活動指導・同顧問・研究室 における教育活動など)	2006年9 - 12月	卒業論文(学士)の指導
2 教育内容・方法の工夫(授業 評価等を含む)	2006年9 - 12月	東京基督教大学にて学部の必須科目の「旧約聖書研究I：モーセ五書」のコースウェブサイトの作成と管理
	2006年9 - 12月	東京基督神学校にて修士課程の選択科目「原典講読2・ヘブル語」のコースウェブサイトの作成と管理
3 作成した教科書、教材、 参考書		
4 教育方法・教育実践に関 する発表、講演会等		

職名 准教授	氏名 杉谷乃百合	
教育実践上の主な業績	年月日	概 要
1 授業以外での教育活動 (2002 - 2006年度に行った課外活動指導・同顧問・研究室における教育活動など)	2002 - 2005年	各年1名の卒業学年生の卒業論文指導にあたる
	2002 - 2006年	バレーボールサークル顧問(2004年まで毎年全校生対象としたバレーボールトーナメント「のゆり杯」を主催)
	2004 - 2006年	読書会「ヤンシー会」顧問
	2004 - 2006年	学生課学生相談室室長として、学生面接、カウンセラーのスーパービジョン、「学生相談室便り」発行を定期的実施。ファカルティ・スタッフディベロプメントとして毎年「精神ケア学び会」の開催。
	2002 - 2006年	企画課課長として、進路指導プログラム「キャリアがい？」を毎学期主催。このプログラムは2008年度から新入生必須科目「キャリア教育」としてカリキュラム化される。
	2002 - 2006年	毎週最低6時間をオフィスアワーとし、教育活動、人生相談、交流の時間として学生に提供。
2 教育内容・方法の工夫(授業評価等を含む)	2002 - 2006年	担当授業科目は、シラバス化を通し授業の意義、ゴール、講義スケジュール、評価を明確化し、学生の学習のオーガニゼーション、プランニングを促進、サポート。
	2002 - 2006年	授業のデリバランスは、ダイアレクティカルな講義の比率を可能な限り抑え、学生が主体となるアクティビティーを取り入れることを工夫。例えば、ディスカッション、スモールグループ、ロールプレイング等の導入。講義がメインとなる心理学の課題は、学生同士のインターアクションを促進するダイアッドプロジェクト(授業後ダイアッドパートナーが講義内容の復習をし、理解を深め、日常生活からの観察や個人の振り返りを含めたレポートにまとめる)を毎年採用。多くの学生にとっては初めての学びとなるキリスト教教育では、教会やクリスチャン施設の現場とつながりが持てるよう施設見学や、現場でのインタビューを奨励する課題を提供。
	2002 - 2006年	学生の学習評価は、出席率、授業参加も成績に反映される尺度を採用。また、ノーム評価とクライテリア評価を混合することにより学生の様々な学習傾向ができる限り反映されるよう考慮。
	2002 - 2006年	授業評価は、当大学が2007年度に義務化する以前から全ての担当授業科目で授業評価を取り、統計データ化、翌年授業の改善に役立っている。
3 作成した教科書、教材、参考書	2004 - 2006年	全ての講義(心理学I/II, キリスト教教育I/II, Psychology I/II, Christian Education, 「女性と社会」「キリスト教倫理」「社会福祉講座概論」)をパワーポイント化。

4 教育方法・教育実践に関する発表、講演会等	2002年5月	日本クリスチャンキャンプ協議会、“子どもの心にみことばを届けるために”（一日研修会）
	2002 - 2003年	クリスチャン新聞、“CSでできること、できないこと”（連載記事）
	2005年2月	Reaching Japanese for Christ Conference: Seattle,USA, “ Understanding Young Japanese for the Gospel ” (Workshop)
	2006年1月	「いのちのことば」“土台となる価値観をみにつけて”（記事）
	2006年2月	Reaching Japanese for Christ Conference: Seattle,USA, “ Understanding Young Japanese for the Gospel ” (Workshop)
	2007年4月	「幸いな人」“いじめ”
	2007年9月	東大宮福音自由教会、「現代の若者の心」（ワークショップ）
	2008年2月	Reaching Japanese for Christ Conference: Seattle,USA, “ Buildig Community ” (Workshop)

職名 准教授	氏名 Frank Tuzi * 2004年度より着任	
教育実践上の主な業績	年月日	概 要
1 授業以外での教育活動 (2002 - 2006年度に行った課 外活動指導・同顧問・研究室 における教育活動など)		Committees
	2004 -	コンピューター委員会 (2006年度より教育情報化推進委員会)
	2006 -	E-Learning
	2004 -	English language program
	2005-2006	紀要委員会
		Computer Systems Installation
		Client-Server computer lab- 35 client stations & 1 server (Fedora Core + DRBL + Samba)
		Groupware/CMS (e-groupware, xoops, Joomla)
		E-Learning course management system (Moodle)
		Print quota & accounting system (PyKota)
		Training & Rating
		University writing tutor
		Diagnostic testing trainer
	2005 -	Graduation thesis writing mentor
	2005 -	E-Learning training & support
		Program Management
2005 -	Director of E-Learning	
2005	Interim Director of English	
2005	Interim Director of English	
2 教育内容・方法の工夫(授 業評価等を含む)		
3 作成した教科書、教材、 参考書	2006 Tokyo Christian University Information Science Curriculum	Information Science Curriculum : Working with the computer and E-Learning committees, I established an Information Science (IS) minor curriculum that includes 10 courses covering introductory IS concepts, networking, servers, database management, IS research skills and media development. The program is currently under consideration.
	2006 Tokyo Christian University TESL Curriculum	I researched, designed and wrote an undergraduate minor/certificate in TESL for TCU including the scope and sequence of the entire program and syllabi for each course.

3 作成した教科書、教材、参考書	2005 Tokyo Christian University ESL Curriculum	As the acting director of the English program, I lead a team that developed and instituted a curriculum detailing the scope and sequence of each course by setting reading, writing, listening, speaking, grammar, and vocabulary goals for each of the 4 levels of language learning at TCU.
	2005 Tokyo Christian University E-Learning Portal	As the developer of online education , I designed, created, and deployed several web-based applications to implement an online education portal. The course content management system will allow instructors to develop and deploy hybrid and distance courses. Initial location http://online.tci.ac.jp
4 教育方法・教育実践に関する発表、講演会等		Publication
		Articles :
	2007	Educators can manage course content with Moodle. Published on an OSTG website. Location: www.linux.com/article.pl?sid=06/12/19/ .
	2006	Enhancing second language acquisition with Audacity. Published on an OSTG website. Location: www.linux.com/article.pl?sid=06/12/14/1735237 .
	2006	DRBL: A quick and easy thin client server. Published on an Open Source Technology Group website. Location: www.linux.com/article.pl?sid=06/09/20/1837209 .
		Tracking and charging for printing with PyKota. Published on an Open Source Technology Group website. Location: www.linux.com/article.pl?sid=06/08/30/1924249
		Developed Materials :
	2006	Web-based Moodle & MP3 JavaScript CLOZE activities. 100+ CLOZE listening activities using short authentic speech from online radio shows, excerpts from audio books, songs and live interviews.
	2006	3000 multiple choice questions for the 3000 most frequently used English words. The questions are written using the grammar levels developed in Tuzi ' s (1997) diagnostic tests. Location: www.ituzi.net
		Scholarly Research Articles :
	2007	Lynn, M. & Tuzi, F. Collaborative L2 Writing: An Analysis of Forms of Response and Feedback that Impact the Second Language Writing Process. A refereed paper published in the 2007 Humanities Review of Kwansai Gakuen University.
	2004	The impact of e-feedback on the revisions of L2 writers in an academic writing course. Published in the June 2004 issue of Computers and Composition.

4 教育方法・教育実践に関する発表、講演会等		Presentation
	2007	Blended tasks: Face-to-face and online task development. A paper presented at the 2007 annual Task-based language teaching conference in September in Honolulu, HI. - Flashed at http://www.ituzi.net
	2007	Izawa, A., Mori, K. & Tuzi, F. Culture and Values in TV commercials. A paper be presented at the 2007 annual TESOL conference in Seattle, WA. - Flashed at http://www.ituzi.net
	2006	Izawa, A., Mori, K. & Tuzi, F. Culture and Values in TV Commercials. A paper presented at the annual JALT conference in November in Kitakyusyu, Japan. - Flashed at http://www.ituzi.net
	2006	Moodle, MP3 and Flash on the Brain: Open Source in Language Education. A paper presented at the annual JALT conference in November in Kitakyusyu, Japan. - Flashed at http://www.ituzi.net
	2006	Tateyama, T. & Tuzi, F. E-Learning in Japan: Converting the old and making the new. A research paper presented at the annual JALT conference in November in Kitakyusyu, Japan. - Flashed at http://www.ituzi.net
	2006	Tuzi, F. & Young, J. Expanding opportunities via authentic MP3s. A paper presented at the annual JALT conference in Kitakyusyu, Japan.
	2006	Izawa, A., Mori, K. & Tuzi, F. Go to Commercial. Using TV commercials to teach English. A paper presented at the January Christians in English Language Teaching conference at Payap University in Chiangmai, Thailand.
	2006	Lynn, M. & Tuzi, F. Open Source in Language Education: A Christian Perspective. A paper presented at the January Christians in English Language Teaching conference at Payap University in Chiangmai, Thailand.
	2005	Tuzi, F. & Wibowo, K. Open Source for Business: An Overview. A paper presented at the spring conference of the International Academy of Business and Information Technology in Pittsburgh, PA.
	2005	Anderson, B.; Bowman, A; Liningston, R; Lynn, M; Smith, J.; Tuzi, F. & Young, J. The Magnificent Seven: Intercontinental web-based writing and responding. A research paper presented at the Spring 2005 CAL'05 Virtual Learning conference in Bristol, UK.
		Grants
2006	Tuzi, F. Discovery Education I receive yearly grants with Discovery Education's United Streaming webbased video streaming. In return I will conduct research on the efficacy of United Streaming's video library content on second language learning, and attempt to build L2 language materials to accompany this video library.	

職名 特任教授	氏名 天田 繁	
教育実践上の主な業績	年月日	概 要
1 授業以外での教育活動 (2002 - 2006年度に行った課 外活動指導・同顧問・研究室 における教育活動など)		
2 教育内容・方法の工夫(授 業評価等を含む)		
3 作成した教科書、教材、 参考書		
4 教育方法・教育実践に関 する発表、講演会等	2000年	第4回日本伝道会議 発題講演 「文化・芸術の理解と教育」
	2002年	「斉唱賛美と合唱賛美の併存の可能性」(『R・A・Cジャーナル』10号)

職名 教授	氏名 西岡力	
教育実践上の主な業績	年月日	概要
1 授業以外での教育活動 (2002 - 2006年度に行った課 外活動指導・同顧問・研究室 における教育活動など)	1996 - 2005年	実践神学実習の全体のシステムを大幅に改訂、再構成した
	1996-2005年	学生課長
	1996 - 2005年	奨学金委員会委員長
	1999 - 2005年	障害者受け入れ委員会委員
	1997年 -	異文化実習委員会委員 (2006からは委員長)
	2006年 -	国際キリスト教学科長
2 教育内容・方法の工夫(授 業評価等を含む)		
3 作成した教科書、教材、 参考書		
4 教育方法・教育実践に関 する発表、講演会等		

職名 教授	氏名 Stephen T. Franklin	
教育実践上の主な業績	年月日	概 要
1 授業以外での教育活動 (2002 - 2006年度に行った課 外活動指導・同顧問・研究室 における教育活動など)		1999 - 2005年度、学長としてBiola Univ.をはじめとする、The Council for Christian College and Universities所属の 教育機関、およびThe Intenational Association for the Promotion of Christian Higher Educationとの交流を発展させ るとともに、本学における「アジア神学コース」の創設に尽力した。
2 教育内容・方法の工夫(授 業評価等を含む)		
3 作成した教科書、教材、 参考書		
4 教育方法・教育実践に関 する発表、講演会等	2006年	Colombo, Sri Lanka. Colombo Theological Seminary. Visiting Professor: One Week Intensive Course. “ Theology of Religions: How Christians Look at Other Religions ”
	2006年	Kandy, Sri Lanka. Lanka Bible College. One week intensive course. “ Introduction to Systematic Theology. ”
	2006年	Seoul, Korea. Chongshin University. Consultation on Leadership Education. Resource Person and Commentator on Presentations.
	2006 - 現在	Member: Board of Directors for the William Carey University. Shillong, India.

職名 教授	氏名 Joseph Poulshock	
教育実践上の主な業績	年月日	概 要
1 授業以外での教育活動 (2002 - 2006年度に行った課 外活動指導・同顧問・研究室 における教育活動など)		In addition to the activities listed below, I have also been involved in helping create cutting edge online word learning systems.
		These applications are located in TCU's Moodle Online Learning System, at <lexxica.com>, and at <beeoasis.com>
		These projects are a natural outworking of my classroom teaching and expertise, dealing with graded reading, vocabulary instruction, and content-based language education.
2 教育内容・方法の工夫(授 業評価等を含む)		We are developing a graded reading system based on theories of lexical frequency and reading ease.
		The system employs statistical analysis of lexical items and grades stories presented in an e-magazine in 5 steps or levels.
		The system also employs a computer analysis of readability and combines this analysis with the lexical grading of the texts.
		The result is a 5-Step graded system described in simple user friendly terms for the readers and listeners of the content.
		This project is now online at this URL: <beeoasis.com>.
3 作成した教科書、教材、 参考書	2006 -	1. We created an online database driven vocabulary testing system of the top 2700 high frequency English words.
	2006 -	3. I created an online webclass for vocabulary learning, containg 200 multimedia podcast lessons for the top 2000 English words.
	2005 -	4. I created a series of 50 language lessons using the lyrics of music for use in language classes.
	2004 -	5. I have created multi-media slides for "Flash" conversation practice for use in classrooms and online.
	2003 -	6. I have personally written 45 graded stories between 175 and 500 words for use in language classes.
3 作成した教科書、教材、 参考書		These stories are now being revised and presented on the liberal arts graded language site <beeoasis.com>.

4 教育方法・教育実践に関する発表、講演会等	2000 - 2006	This period of time was devoted to a doctoral dissertation that was focused more on language theory than educational practice.

職名 准教授	氏名 宮脇聡史	
教育実践上の主な業績	年月日	概要
1 授業以外での教育活動 (2002 - 2006年度に行った課 外活動指導・同顧問・研究室 における教育活動など)	2002年7月	異文化実習インターン バングラデシュ(国際飢餓対策機構)
	2003年7月	異文化実習インターン カンボジア(国際飢餓対策機構)
	2004年7月	異文化実習インターン フィリピン(マリガヤ・ハウス)
	2006年7月	異文化実習インターン フィリピン(アジア教会文化研究所)
	2007年7月	異文化実習インターン フィリピン(アジア教会文化研究所)
2 教育内容・方法の工夫(授 業評価等を含む)		特別になし
3 作成した教科書、教材、 参考書		授業配布のシラバスのみ
4 教育方法・教育実践に関 する発表、講演会等		特別になし

職名 講師	氏名 森恵子	
教育実践上の主な業績	年月日	概要
1 授業以外での教育活動 (2002 - 2006年度に行った課 外活動指導・同顧問・研究室 における教育活動など)	2002 - 2005年度	英語科作成の授業評価表(無記名)を、学期末毎に学生に配布・実施
	2006年度	新しい活動・発表・プロジェクト等の効果を計る評価表(無記名)を実施
	2005 - 2006年度	ムードルを用いた、オンラインの課題提示・提出・フィードバック・評価
	2002 - 2006年度	スキット・ドラマを用いた英語学習
	2002 - 2006年度	専門科目への橋渡しのため、英語で書かれた聖書・注解書・クリスチャン生活に関する教材を使用
2 教育内容・方法の工夫(授 業評価等を含む)	2006年度 - (作成中、出 版予定)	TVコマーシャルを用いた、英語と異文化を学ぶ教育方法
3 作成した教科書、教材、 参考書	2005年8月27 - 28日	JALTワークショップで発表 "Toward Independent Learning Through Extensive Reading"
	2006年1月23 - 25日	CETESOLカンファレンスで発表 "Go To Commercial"
	2007年3月21 - 24日	TESOL カンファレンスで発表 "Culture and Values in TV Commercials"
4 教育方法・教育実践に関 する発表、講演会等	2002 - 2006年度	グレードリーダーの多読・レポート・発表を成績評価の一部とし、随時教師がフィードバックを行った
	2006年度	英語科教員作成の必修単語の問題集がデータベース化され、オンラインテストが可能になった

職名 准教授	氏名 柳沢美和子	
教育実践上の主な業績	年月日	概 要
1 授業以外での教育活動 (2002 - 2006年度に行った課 外活動指導・同顧問・研究室 における教育活動など)		
2 教育内容・方法の工夫(授 業評価等を含む)		
3 作成した教科書、教材、 参考書		
4 教育方法・教育実践に関 する発表、講演会等	2002年9月3日	研究発表「ACTS-es プログラムにおける日本語教育について」 (TCU専任教員退修会)
	2005年11月19日	プレゼンテーション 「仕事について」 (東京武蔵野福音自由教会 キャリアフォーラム)
	2007年2月12日	セミナー "How does Discourse Analysis Help Language Pedagogy?" (シンガポール国立大学・Center for Language Studies)
	2007年3月14日	セミナー「社会言語学的見地から、日本語の特徴を考える」(シンガポール国立大学・Center for Language Studies)

役職 講師	氏名 大和昌平 *2006年度より着任	
教育実践上の主な業績	年月日	概 要
1 授業以外での教育活動 (2002 - 2006年度に行った課 外活動指導・同顧問・研究室 における教育活動など)	2006年6月5日	学園チャペルにおいて学生のために説教をする。
	2005年6月15日	学生主催の早天祈祷会において説教をする。
	2005年6月21日	活動休止状態であった茶道部の道具をチェックし、研究室で使用できるように整える。
	2005年6月29日	研究室で茶道サークルの顧問として、活動を再開し、指導する。
	2005年7月21日	学園企画の礼拝音楽セミナーの開会礼拝において説教をする。
	2005年9月1日	専任教職員研修会の礼拝において説教をする。
	2005年11月3日	シオン祭にて茶道部学生たちと野点を催す。事前に集中的に稽古をする。
	2005年11月29日	4年生の卒業チャペルの司会をする。
	2006年1月17日	4年生の卒業チャペルの司会をする。
	2006年4 - 6月	月一度火曜午後7 - 9時、茶道サークルの稽古に、表千家講師の山口雅弘氏を迎える。
	2006年9月27 - 29日	大学のリトリートに参加し、学生たちと交流する。
	2006年11月16日	「実践神学概論」の特別授業として玉井邦美氏を迎える。
	2006年11月13日	「実践神学概論」の授業として土浦めぐみ教会を学生たちと訪問し、活動の説明を受けつつ見学する。
2 教育内容・方法の工夫(授 業評価等を含む)	2006年2月21日	教育内容準備のため、土浦めぐみ教会の清野牧師を訪ね、インタビュー調査を行なう。
	2006年3月24日	大学所属カウンセラーによる精神ケア学び会に出席し、意見交換をする。
	2006年6月21日	『東洋思想』の授業に表千家茶道講師の山口雅弘氏を迎え、講義と呈茶をしていただく。
	2007年1月10日 - 2月14日	「日本思想」の授業に、教科書とした加藤周一『日本の色と形』をNHKが番組化したDVDを購入して教材として活用する。
	2007年1月18・25日	「世界の宗教とキリスト教」の授業に、神道研究者の高桑照雄氏を迎え、特別授業を行なう。
3 作成した教科書、教材、 参考書	2005年4月	「東洋思想」「説教学演習」の教材を作る。
	2005年9月1日	「日本の宗教とキリスト教」「説教学演習」の教材を作る。
	2006年1月	「世界の宗教とキリスト教」の教材を作る。
	2006年4月	「東洋思想」「説教学演習」「Eastern thought」の教材を作る。
	2006年9月	「実践神学概論」「説教学演習」の教材を作る。
	2007年1月	「日本思想」「世界の宗教とキリスト教」の教材を作る。
4 教育方法・教育実践に関 する発表、講演会等	2006年11月3日	福島県地区の学園デーにて「仏教を理解する」をテーマに講演を行なう。
	2006年11月21日	近畿宣教教会会議にて「宣教的視点から見るキリスト教葬儀」をテーマに発表。